

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2016 助成の概要と推薦理由

助成番号 16-1-3

プロジェクト名 病気の子どものきょうだい支援を広げるための  
シブリングサポーター養成事業  
団体名 特定非営利活動法人しぶたね  
代表者名 清田 悠代  
所在地 大阪府  
助成額 170万円  
助成期間 2017年4月1日～2018年3月31日  
設立年 2003年  
U R L <http://blog.canpan.info/sib-tane/>



重い病気をもつ子どもの家庭では、きょうだいにも負担がかかっていることが多いが、それらは病気の子どもの陰で気づかれにくい。きょう代は、淋しさや不安な気持ち、嫉妬やプレッシャーなどから心身に変調をきたしたり、成長後も生きづらさを抱えたりすることがあると言われている。このようなきょう代の気持ちに気づき成長を支える場は、日本には未だ数えるほどしかなく、サポートできる支援者も限られている。

この団体は大阪を拠点に、そのような病気の子どものきょう代を支援するとともに、きょう代が置かれている現状を伝え支援の輪を広げる活動に取り組んでいる。

今回の助成では、そのようなきょう代の支援者(シブリングサポーター)を増やすことを目指し、昨年からの取り組みを始めた一般支援者向けや病院等支援者向けの研修会を、地域を拡大して愛媛、秋田、岡山他で実施する(7回程度)。また、研修を修了した支援者がつながり、各地の情報や実践を共有・検証したり悩みを相談し合える場として、年1回の「シブリングサポーターミーティング」を立ち上げ、第1回を大阪で実施する。

本団体は病気の子どものきょう代支援を専門とする数少ない団体で、常にきょう代に寄り添ってきた13年の実績があり、広いネットワークを持っている。本助成を通じて、シブリングサポーター養成の仕組みが確立し支援者が増加するとともに、各地におけるきょう代の受け皿づくりにつながることで、さらにシブリングサポーターのネットワークの基礎作りが進むことを期待して助成する。